中2 理科 ポイント　　名前＿＿＿＿＿＿＿＿

地球 2 大気圧と風

＿＿＿月＿＿＿日

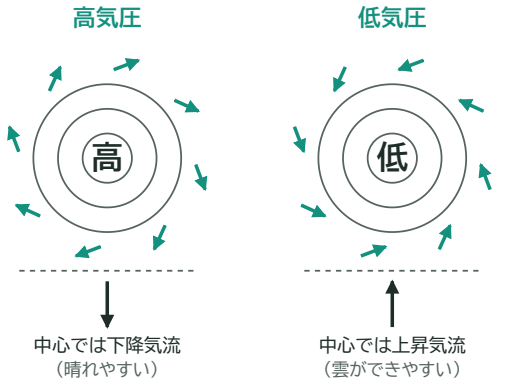
まとめ 大気圧(気圧)

地球は空気(大気)でおおわれていて、空気にも重さがある。大気の重さによって生じる圧力を**大気圧**(気圧)という。大気圧は、あらゆる向きから物体にはたらく。

大気圧の単位には**ヘクトパスカル**(記号 hPa)を使う。1 hPa＝100 Pa で、海面付近の平均は約 **1013 hPa**(これを1気圧という)。

- 1 m² の面には、約 10万 N(約 10 t の物体の重さ)の大気圧がかかっている。
- 高いところほど、上にある空気が少ないので、大気圧は**低く**なる。

図 等圧線と風



風は、高気圧から時計まわりに吹き出し、低気圧へ反時計まわりに吹きこむ

気圧が等しい地点をなめらかな線でつないだものを**等圧線**という。天気図では 4 hPa ごとに引き、20 hPa ごとに太い線にする。

まわりより気圧が高いところを**高気圧**、低いところを**低気圧**という。風は、気圧の**高い**ほうから**低い**ほうへ吹く。

	高気圧	低気圧
地上の風	中心から**時計まわり**に吹き出す	中心へ**反時計まわり**に吹きこむ
中心付近の空気	**下降気流**	**上昇気流**
天気	晴れやすい	くもり・雨になりやすい

まとめ 風の強さと向き

等圧線の間隔が**せまい**ところほど、気圧の差が大きく、風は強い。間隔が広いところでは風が弱い。

日本付近(北半球)では、風は等圧線に垂直ではなく、少しずれて吹く。高気圧からは時計まわりに外へ、低気圧へは反時計まわりに中へ向かう。

例題 天気図と気圧

(1) 等圧線の間隔がせまい地点と広い地点では、どちらで風が強いか。

せまい地点

(2) 1000 hPa は何 Pa か。

1 hPa＝100 Pa なので **100000 Pa**

ちりつもドリル 学校・家庭・塾・教室での印刷と配布は自由です。ウェブへの掲載・販売はできません。